

市立幼稚園廃園のすすめ方



市は、昨年10月、市立幼稚園3園を平成15年3月末で廃園する基本方針を定め、市民のみなさんのご理解とご協力をいただくよう、説明会や懇談会などを開催してきました。

しかしながら、来年度の募集時期が迫ってきていることなど、市立幼稚園の廃園を当初の予定どおり進めるには無理があることなどから、このたび、市立幼稚園の廃園を段階的に進める『市立幼稚園廃園のすすめ方』をまとめましたので、その内容についてお知らせします。



市立幼稚園廃園の基本方針と方針発表後の状況

① 市立幼稚園廃園の基本方針について

市は、新しい時代を迎え、市の責務を全うするため取り組んでいる行政改革を引き続き推進するとともに、急激に進む少子化傾向の中、将来にわたって安定的で良質な幼稚園教育を確保す

るため、『幼稚園教育は民間に委ねる』考え方をまとめました。

この考え方については、市内各団体の代表者からなる委員会や審議会などで慎重に審議していただいた『公共施設の整備方針』（平成4年1月策定）や『登別市行政改革実施計画』（平成7年11月策定）、あるいは登別市のまちづくりの基本である『登別市総合計画』（平成8年4月策定）に位置付けて、市民のみなさんに明らかにしてきました。

そして、昨年3月、この考え方を具体的に進めるため、市立幼稚園3園について平成14年度の4歳児入園を停止し、平成15年3月31日をもって廃園する基本方針（以下『基本方針』）を固めました。

しかし、幼稚園教育を民間に委ねるにあたっては、何よりもまず、私立幼稚園の協力や受入れ態勢の整備が不可欠です。

このため市では、昨年の4月、この基本方針を市議会総務委員会に報告するとともに、私立幼稚園協会に説明を行いました。

昨年8月には、私立幼稚園協会より『基本方針』について了承を得るとともに、積極的に協力したいとの意向を確認しました。

これを受けて市では、『基本方針』について、保護者のみなさんのご理解とご協力をいただくため、昨年10月31日から市立幼稚園3園で説明会を開催する一方で、10月30日から11月28日にかけて、市内9地区で開催された連合

町内会単位の懇談会の席上でも説明をしました。

② 市立幼稚園廃園の基本方針発表後の状況について

基本方針発表後、市立幼稚園のあり方について市民のみなさんから多くの意見や提言が寄せられました。同時に市のホームページ上に開設している『掲示板』を通して、市民のみなさんの活発な意見交換も行われました。

その内容は、廃園に反対する意見ややむを得ないとする意見、また、早急に民間にゆだねるべきとの意見などさまざまでした。

一方、廃園反対については、園児の保護者のみなさんが中心となって展開された署名活動の結果、平成12年12月25日に約8千人の署名を添えて、市立幼稚園廃園の撤回を求める嘆願書が提出されました。

市は、より一層市民のみなさんのご理解とご協力を得るため、平成12年10



▲市立幼稚園廃園の説明会の様子